主催：茨城大学教育学部

第一回 茨城大学教育実践交流会

幼児期からの学びの連続性を考える

茨城県教育委員会は「いばらき教育プラン」で「幼保・小・中の連携」を最重要課題の一つとして位置づけています。この会では、連続的に「子どもの学び」を実現することができる教育システムや授業や指導のあり方を考えます。

参加無料

平成29年 8月10日 木

13:00～16:00　会場：茨城大学教育学部D棟・B棟

〒310-8512 茨城県水戸市文京２－１－１

第１部　13:00～14:00　D201 教室

基調講演「幼小中連携のマネジメント：成果と課題」

東京学芸大学附属竹早小学校副校長　彦坂　秀樹

第２部　14:15～16:00　D201・B205・B207・D101 教室

講話

14:15～15:00　D201 教室

「幼児教育から小学校に学びをつなげる教材開発と指導のポイント」

茨城大学教育学部准教授　新井　英靖

実践交流とワークショップ

実践交流

15:00～16:00　B205・B207 教室

教材開発の実際

「特別支援教育の教材から、幼児期と学童期の指導方法を考える」

ワークショップ

15:00～16:00　D101 教室

書字指導の実際

「幼児期から小学校低学年にかけての書字指導の基本」

茨城大学教育学部教授　齋木　久美

問い合わせ先
茨城大学教育学部　総務課
電話　029 (228) 8655

第 1 回 茨城大学教育実践交流会「幼児期からの学びの連続性を考える」

第 1 部　基調講演

13：00 ～ 14：00　「幼小中連携のマネジメント：成果と課題」（D201）

講師　彦坂　秀樹先生（東京学芸大学附属竹早小学校副校長）

司会・進行　小泉　晋弥（茨城大学教育学部副学部長）

第 2 部　講話・実践交流およびワークショップ

14：15 ～ 15：00　講話「幼児教育から小学校に学びをつなげる教材開発と指導のポイント」（D201）

講師　新井　英靖（茨城大学教育学部准教授）

15：00 ～ 16：00

実践交流　教材開発の実際（B207 およびB205）

「特別支援教育の教材から、幼児期と学童期の指導方法を考える」

特別支援教育には、幼児期から学童期の発達段階の児童生徒が多く在籍しています。そこで特別支援学校で使用している幼児期から学童期にかけての教材を 20 個程度、紹介し、実践交流するなかで、学習が苦手な子どもたちの学習指導の方法についてともに考える機会としたいと思います。

ワークショップ　書字指導の実際（D101）

「幼児期から小学校低学年にかけての書字指導の基本」

齋木　久美（茨城大学教育学部教授）

幼児期から小学校低学年にかけての書字指導の基本について 15 分程度解説をした後、実際にいろいろなペンや鉛筆を使いながら、書字指導の方法を実技的に伝えます。このワークショップを通じて、普段、何気なく行っている「文字」の書かせ方を見つめ直す機会にしていただければと思います。

第 1 回 茨城大学教育実践交流会　参加申込書

申込先

担当者　茨城大学教育学部総務課　三田寺

FAX：029-228-8329

- 準備の都合上、8 月 4 日（金）までにお申し込みください。
- お手数でも、参加される方の情報を記入の上、FAX でご連絡ください。
- 参加費は無料ですが、旅費・宿泊費等については、参加機関又は個人負担となります。

機関名等（ご住所）	ふりがな
	〒　　－
	TEL：　　FAX：
	E-mail

	職　名　等	氏　　名	実践交流・ワークショップ参加希望
申込者 1			実践交流・ワークショップ
申込者 2			実践交流・ワークショップ
申込者 3			実践交流・ワークショップ
申込者 4			実践交流・ワークショップ
申込者 5			実践交流・ワークショップ

ご記入頂いた個人情報につきましては、教育実践交流会の連絡および主催者が実施するセミナー等の案内のみに利用させて頂きます。